

大阪松竹座開場100周年記念

製作  松竹

わが街、 道頓堀

~OSAKA 1970~

作：わかぎふふ 演出：G2

綺咲愛里

浜中文一

室
龍太



みやなおこ



加藤虎ノ介



オノグラフィティ




笑福亭銀瓶

【後援】大阪市 道頓堀商店会

2023.12.16(土) → 12.25(月)

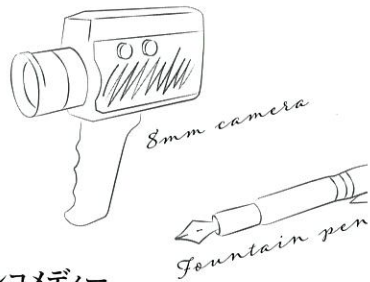
チケット発売開始 2023.11.7(火)10:00より

チケットホン松竹 ☎0570-000-489 チケットWeb松竹 

 大阪松竹座

わが街、道頓堀

～OSAKA 1970～



大阪万博を控える1970年、大阪松竹座の位置する道頓堀を舞台にした書き下ろしのハートフルコメディ。作は大阪の風情や人情を生き生きと描くことに定評があり、松竹新喜劇、新作歌舞伎の脚本や演出を手がけるなど、関西の演劇界に欠かせない存在のわかぎゑふ。演出には新作歌舞伎『風の谷のナウシカ』や舞台『ガラスの仮面』など、幅広いジャンルの作品を巧みな構成力と演出力により成功させてきたG2。

主演はこれまで幾度となく大阪松竹座の舞台に立ってきたコメディ―センス抜群の浜中文一と室龍太が務め、大阪松竹座開場100周年記念公演の掉尾を飾ります。共演には、今回大阪松竹座初出演となる綺咲愛里をはじめ関西にゆかりある出演者が勢揃いし、関西人らしい息の合った軽快なやりとりでエネルギー溢れる大阪の人々の生きざまを描きます。

2025年の大阪・関西万博を控える現代の私たちと重ね合わせてご覧ください。

Story

時は1970年。日本万国博覧会の開催に向けて期待を高め、意気揚々としていた時代。大阪のとある新聞社では報道部に特別班が組まれた。抜擢されたのは東京出身の記者、藤井和也（浜中文一）。慣れない大阪生活とエネルギッシュな大阪人たちに圧倒され意気消沈気味。そんなある日、道頓堀で有名な俳優が絡まれているのを助けようとする「何でも屋の健ちゃん」と呼ばれる村井健太郎（室龍太）に止められる。それは俳優の宣伝だと言うのだ。「大阪を案内したる」と話す健太郎に導かれるまま向かった先は、ジャズ喫茶。万博の話で盛り上がる個性溢れる常連客や衣裳デザイナーを夢見る波多野葉子（綺咲愛里）と出会う。葉子は東京への憧れから和也に興味を持っていく。日本万国博覧会の開幕が近づくとつれ新聞社は万博開催記念イベントで大忙し。大いに盛り上がりを見せ順調かと思われた矢先に府ではある問題が……。

果たして和也と健太郎はミナミの街を揺るがす問題を解決することが出来るのか——!?



Staff

作：わかぎゑふ 演出：G2

美術：乗峯雅寛 照明：高見和義 音響：井上正弘 演出助手：長町多寿子 舞台監督：荒 智司

宣伝美術：大嶋さくら 秋田里沙 宣伝写真：和田隼人

後援：大阪市 道頓堀商店会

2023年 12月16日(土)初日～25日(月)千穂楽 2023年 11月7日(火)午前10時より電話・Web受付開始

2023年	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
12月	⊕	⊕	月	火	水	木	金	⊕	⊕	月
11:00	○		休演日	○	○			○	○	
13:00							○			○
15:30	○	○		○	○			○	○	
ご観劇料(税込)	1等席 11,000円		2等席 6,000円		3等席 4,000円					

ご予約は **チケットホン松竹** ☎0570-000-489 (受付時間/10:00～17:00) または ☎大阪 06-6530-0333

チケットWeb松竹 チケットWeb松竹

チケットぴあ [Pコード:522-656] w.pia.jp/shochikuza/

イープラス eplus.jp/shochikuza/

ローソンチケット [Lコード:53376] l-like.com/shochikuza/

○前売券取扱所 大阪松竹座・南座・歌舞伎座・新橋演舞場

○窓口販売・お引取りは、11月9日(木)10:00～

○窓口販売用別枠でのお取置きはございません。

団体の申し込み・お問い合わせは ☎06-6214-2211 販売営業まで



〒542-0071 大阪市中央区道頓堀 1-9-19
OsakaMetro「なんば駅」15B出口 徒歩約1分
お問い合わせ ☎06-6214-2211
松竹ホームページ
https://shochiku.co.jp

